

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市の文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与する。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与する。

参加・体験事業
<p>(1) 文芸作品募集事業 (補助金事業 予算額 1,000千円)</p> <p>子どものための文芸コンクール「あなただけの〇〇ストーリー」(仮)</p> <p>小中学生を対象に小説やエッセイなどの文芸作品を公募し、優秀作品をウェブサイトで公開する。特に優秀な作品は朗読音声をつけて公開する。</p> <p>作品募集期間/2021年8月～9月 選考委員/名古屋地域で活動している文芸団体等</p>
<p>(2) 学生参加事業 (補助金事業 予算額 1,700千円)</p> <p>NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2021</p> <p>学生の文化芸術活動を応援するため、学生参加型の事業を企画する。令和3年度は、地元で活動する中高生ビッグバンドが多数出演する、ジャズを中心とした音楽イベントを開催。</p> <p>日程/2021年7月24日(土) 会場/公会堂</p> <p>出演バンド/日本学校ジャズ教育協会(JAJE)中部支部所属の学生団体</p>
<p>(3) 子どもアートピア (補助金事業 予算額 7,475千円)</p> <p>子ども向け・名古屋の魅力向上をテーマに令和3年度より3か年計画で実施。愛知芸術文化協会(ANET)との共催で、名古屋を中心に活動するアーティストや文化芸術団体による公演やワークショップを通じて、子どもたちが文化芸術に興味を持つきっかけをつくる。</p> <p>日程/2021年12月18日(土)～19日(日) 会場/青少年文化センター等</p> <p>共催/愛知芸術文化協会(ANET)</p>
<p>(4) 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル in 名古屋(自主財源事業 予算額 5,500千円)</p> <p>海外の劇団と名古屋の劇団による子ども向け舞台作品の上演やワークショップを通じて、未来を担う子どもたちに国際レベルの様々な舞台芸術に親しんでいただくフェスティバルを開催する。</p> <p>日程/2021年8月</p> <p>会場/未定</p>
鑑賞事業
<p>(1) なごや子どものための巡回劇場 (実行委員会形式) (負担金事業 予算額 9,000千円)</p> <p>演劇、人形劇、音楽劇、交響楽、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場(文化小劇場など)で開催する。</p> <p>公演回数/32公演</p> <p>出演/名古屋フィルハーモニー交響楽団 はじめ7団体</p>
<p>(2) 市民のための芸術鑑賞会 (自主財源事業 予算額 10,729千円)</p> <p>大規模ホールを会場に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催する。</p> <p>1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会 日程/2021年5月13日(木) (1回) 会場/日本特殊陶業市民会館フォレストホール</p> <p>2 人形浄瑠璃「文楽」 日程/2021年10月15日(金) (2回) 会場/芸術創造センター</p> <p>3 鬼太鼓座コンサート 日程/2022年1月7日(金) (1回) 会場/日本特殊陶業市民会館ビレッジホール</p>

(3) 市民半額鑑賞会 (自主財源事業 予算額 1,600千円)

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供する。
年間に3回程度実施し、約4,000枚を提供。

友の会事業 (自主財源事業 予算額 11,420千円)

- 1 会員向けのコンサートや落語会を開催する。
- 2 催し物情報等を掲載した情報誌「友の会だより」を発行する。
- 3 事業団主催事業などの会員向け優先予約や割引を実施する。

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与する。

(1) 総合舞台芸術公演 (補助金事業 予算額 30,400千円)

名古屋市文化振興事業団2022年企画公演 オペレッタ「伯爵令嬢マリツァ」

1920年代オペレッタ白銀の時代の傑作として名高いオペレッタ「伯爵令嬢マリツァ」を制作・上演する。

日程／2022年2月18日(金)～20日(日)〈5回〉 会場／青少年文化センター
作曲／エメリッヒ・カールマン 脚本／ユリウス・ブラマー、アルフレート・グリュンヴァルト
音楽監督・指揮／井崎正浩 上演台本・訳詞・演出／恵川智美 振付／松村一葉
管弦楽／セントラル愛知交響楽団
出演者／オーディションで決定

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展2022

(補助金事業 予算額 2,609千円)

企画者・美術家からのアイデアを一般公募し、コンペティションによる選考を経て、斬新な美術展を開催する。

日程／2022年1月7日(金)～16日(日) 会場／市民ギャラリー矢田

(3) 舞台芸術創造事業 (補助金事業 予算額 1,000千円)

マッピング DE シェイクスピア「テンペスト～The Tempest」

シェイクスピアの「テンペスト」を、地元の俳優、パフォーマーらによる舞踊、声楽などを織り交ぜ、地元の大学生が制作したプロジェクションマッピング映像、音楽などを用いて上演する。

日程／2021年10月22日(金)～24日(日)〈5回〉 会場／青少年文化センター
構成・演出／齋藤敏明、映像演出／鳥居一平(愛知工業大学教授)、音楽演出／小高直樹(大同大学教授)、出演／天野鎮雄、藤井奈緒美 他

(4) 名古屋市民芸術祭2021 (補助金事業 予算額 6,000千円)

総合的な芸術の祭典として、2021年10月～11月に名古屋市民芸術祭2021を開催する。

1 主催事業

①名古屋いけばな芸術展2021

日程／2021年10月26日(火)～10月31日(日) 会場／市民ギャラリー栄

②名古屋市民美術展

日程／2021年11月23日(火・祝)～28日(日) 会場／市民ギャラリー栄

2 参加事業

コンペティションとして20公演参加

賞／名古屋市民芸術祭賞、名古屋市民芸術祭特別賞

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭 (実行委員会形式)

(負担金事業 予算額 6,000千円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭」(2021年10月23日(土)～11月14日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「芸どころ名古屋舞台」3公演を実施する。

- 1 能楽公演「あかり彩る幽玄の世界」(仮)
日程/2021年11月3日(水・祝)〈1回〉 会場/名古屋能楽堂
- 2 新感覚エンターテイメント「ナゴヤカブキ」(仮)
日程/2021年11月6日(土)～7日(日)〈4回〉 会場/中村文化小劇場
- 3 神楽太鼓公演(仮)
日程/2021年11月13日(土)〈1回〉 会場/青少年文化センター

(6) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST (実行委員会形式)

(負担金事業 予算額 1,653千円)

アーティストの活動支援とまちの賑わいづくりに寄与するため、公募によるアーティストに、地下鉄駅や商業施設等で自由にパフォーマンスができるライセンスを発行する。

日程/通年 会場/市内19施設
認定アーティスト数/130組 ライセンス期間/1年

(7) イベント開催等支援事業 (自主財源事業 予算額 10,260千円)

1 イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出する。

受注目標/19件程度

2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムを活用し、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを運営する。

販売枚数/40,000枚程度

3 文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドに設ける。

相談件数/300件程度

(8) 芸術創造賞 (自主財源事業 予算額 808千円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人(団体)を選考し、第36回芸術創造賞を授与する。

授賞件数/2件

授賞式/2021年6月

(9) Nagoya チラシデザイン大賞 (自主財源事業 予算額 500千円)

市内で開催される公演や美術展の広報用チラシを対象にデザインコンテストを開催し、優れた作品のデザイナーを表彰するとともに、応募されたチラシを展示する。

対象/2021年度に開催される公演・美術展のチラシ

作品展示/2022年3月8日(火)～13日(日) 会場/市民ギャラリー矢田

(10) 名古屋市文化振興事業団演劇賞 (自主財源事業 予算額 500千円)

名古屋女性演劇賞の授与

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)のご遺族からの寄付金をもとに、故人の演劇分野の振興に対する情熱を後世に受け継ぐことを目的として、名古屋市域の演劇の振興に貢献のあった女性演劇関係者に名古屋女性演劇賞を授与する。

選考会/2022年2月 授賞件数/1件

授賞式/2022年3月

(11) 文化芸術関係者・団体活動支援事業（自主財源事業 予算額 11,854千円）

新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けている多ジャンルの文化芸術関係者と協力し、新たな文化芸術コンテンツを生み出してウェブサイト等で発信することで、自粛を余儀なくされる市民に楽しんでいただきながら、文化芸術関係者の活動を間接的に支援する事業を実施する。

1 応援ソング制作・配信事業

令和2年度に制作した応援ソング「きみのあした」を活用し、コロナ禍で特に活動に制約を受ける合唱の分野を応援するため、合唱版楽譜を制作し、市内の高等学校合唱部と藤田麻衣子が共演するミュージックビデオを制作してウェブサイトで無料配信するとともに、合唱版楽譜を市内の小・中・高校や合唱団体等に提供し、合唱の動画作品を公募する。あわせて吹奏楽版やビッグバンド版楽譜を制作し、演奏機会の充実を図る。

編曲・歌唱／藤田麻衣子

出演／愛知県高等学校文化連盟合唱専門部に所属する市立高等学校7校

合唱版楽譜提供先／市内小・中・高校、愛知県合唱連盟所属団体等

2 公募短編小説ウェブサイト発信事業「NAGOYAヴォイシーノベルズ・キャビネット」

令和2年度に開設したウェブ投稿の専用ステーションサイトを運用し、視聴者に元気や勇気、感動を与えられる短編小説を募集して配信する。作品には朗読による音声をつけ、視覚障がい者の方、聴覚障がい者の方など市民誰もが楽しめるコンテンツとして提供する。

作品／1,600字程度の自作未発表作品

審査員／麻創けい子、奥山景布子、はせひろいち、藤真知子、山本直子 ほか

朗読者／地元演劇関係者

(12) 事業団アートマネージャー・ステップアップ事業（自主財源事業 予算額3,756千円）

事業団アートマネージャーが部署を越えて文化芸術イベントを企画制作する。名古屋の文化芸術関係者と協働して、斬新な事業を企画し、成果を市民に提供する。

日程／2022年3月 会場／未定

(13) 文芸による名古屋の魅力推進事業（実行委員会形式）（負担金事業 400千円）

名古屋にまつわる写真から想起される短編文芸作品を広く募集し、優秀作品に賞を授与する「コトノハなごや」とともに、文芸の魅力を体感できる「コトノハなごやサロン-online」を開催する。

作品募集期間／2021年8月～9月 選考委員／中村航、太田忠司、中村陽子

コトノハなごやサロン-online／2022年1月

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図る。

(1) 文化情報誌の発行（補助金事業 予算額 2,750千円）

「なごや文化情報」（12ページ）を発行し、名古屋地域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供する。

発行部数／8,000部

発行回数／4回（季刊）

(2) 文化情報ひろばの運営（補助金事業 予算額 6,019千円）

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、CINEMAPORTでの映画情報の提供、文化芸術関係の図書の見聞コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営する。

(3) 文芸作品アーカイブ事業 (自主財源事業 予算額 3,000千円)

名古屋地域の文芸作品のアーカイブとして市民文芸祭作品集の合本と、70年に渡り開催してきた名古屋短詩型文学祭の集大成の記念誌を作成し、貴重な資料として保存、活用する。

1 名古屋市民文芸祭作品集合本の作成

平成14年度から実施してきた名古屋市民文芸祭の作品集をまとめた合本を作成する。

2 名古屋短詩型文学のあゆみ70年史の作成・配付

令和元年度で70回の開催となった名古屋短詩型文学祭の優秀作品や事業の軌跡をまとめた70年史を作成し、アーカイブとして市内図書館等に配付する。

4 文化活動拠点づくりのための文化事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行う。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館(中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和)、名古屋市民ギャラリー2館(栄・矢田)、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を行う。

※港文化小劇場は、2021年4月1日から12月28日まで天井脱落対策工事のため休館予定。

※緑文化小劇場と東文化小劇場は2021年4月1日から2022年3月31日まで天井脱落対策工事のため休館予定。

(2) 施設事業

上記の23施設において、約400事業を実施する予定。主な事業は下記の通り。

主な事業

1 ナゴヤワークショップフェスタ2021「ポッシブル！+ONLINE」

音楽、演劇、伝統芸能、ものづくりなど多彩なワークショップの祭典を開催する。

日程／2021年8月3日(火)～9日(月・祝) 講座数／70講座

2 未来の鑑賞者育成事業

公益還元事業として、市内の小学4年生に劇場で生のクラシック音楽に触れていただくコンサートを実施する。

公演数／24公演 参加校／50校

3 劇場パートナーの運営

各文化小劇場において、文化芸術活動の促進と地域コミュニティの形成による地域課題の解決を目的に、子どもから高齢者までが参加する様々なジャンルの実演団体を運営する。

中村文化小劇場 劇団 座・なかむら(演劇)

南文化小劇場 みなみシニア吹奏楽団(吹奏楽)

西文化小劇場 西文化小劇場オペラ合唱団(オペラ)

港文化小劇場 みんなとみなとコーラス(合唱)

天白文化小劇場 劇団 天白月夜(演劇)

名東文化小劇場 めいとうママ楽団オハナ(吹奏楽)、名東文化朗読舎(朗読)

守山文化小劇場 もりっこ彩合唱団(合唱)

北文化小劇場 The Polar Star Jazz Orchestra(音楽)

緑文化小劇場 劇団みどり(演劇)

中川文化小劇場 合唱団クローバー(合唱)

瑞穂文化小劇場 子どもオペラ劇団 瑞穂コペレッタ(オペラ)

昭和 culture 小劇場 子どもミュージカル劇場 show-Wa!(ミュージカル)、

名古屋昭和交響楽団(オーケストラ)

4 スマイルギフト

文化芸術の力を活用して地域の課題を解決することを目的として、ひとり親家庭など経済的支援を必要としている子どもたちを劇場に招待し、公演鑑賞の機会をプレゼントする。

会場／名古屋市芸術創造センター始め15施設

参加対象／ひとり親家庭の親子、支援施設の子どもたち

連携先／母子生活支援施設、児童養護施設、乳児院など